



講演する樋口恵子さん



朗読する斉藤とも子さん

9/25
fri.

TOP NEWS

第51回埼玉県消費者大会

豊かな人生100年社会づくりの課題等を学びました

「平和に安心してらせる社会のために、行動する消費者になろう」を大会スローガンに、第51回埼玉県消費者大会が埼玉会館で開催され、800人が参加しました。オープニングでは、被爆・戦後70年、平和を考える年として、斉藤とも子さんより、向田邦子さんの「字のない葉書」が朗読されました。来賓として上田清司知事の挨拶(塩川修副知事代読)、記念講演では、樋口恵子さん(評論家)が「一歩踏み出せば何かが変わる」と題し、お話されました。午後は、5つの分科会に約450人が参加し、学習と交流をしました。



12/4
fri.

2015さよなら原発埼玉県民集会実行委員会 原発にたよらず 省エネ再エネの促進を

大宮駅西口デッキにて脱原発等をアピール後、「2015さよなら原発埼玉県民集会」をさいたま市民会館おみや大ホールにて開催し、900人が参加しました。井戸川克隆氏(前双葉町長)より「脱原発と核の平和利用中止への決意」、日野彰氏(福島県教職員組合災害担当執行委員)より「福島の教育現場の状況」報告、落合恵子さん(作家・クレヨンハウス代表)が「いのちの感受性・・・さようなら原発・さようなら戦争の時代へ」をテーマに講演されました。



11/30
mon.

平成27年度埼玉県消費生活功労者表彰 生協から4人の方が受賞

生協役職員(消費者団体を含む)16人の受賞者の表彰式が埼玉県知事公館で行われました。県域団体・地域団体・生協を代表して3人の方が塩川修埼玉県副知事より表彰状を授与されました。副知事は、「消費者被害防止の取り組みへ消費者保護等の活動にお力添えを」とあいさつされ、受賞者を代表して熊谷くらしの会の八坂副会長が謝辞を述べました。



11/14~15
sat.-sun.

2015彩の国食と農林業ドリームフェスタ 県内生協の活動等を紹介

2015彩の国 食と農林業ドリームフェスタ(彩の国食と農林業の祭典実行委員会主催)が川口市のSKIPシティで開催されました。コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、医療生協さいたまの4生協と埼玉県生協連が出展し、生協クイズ、コープ商品の試食、健康・体力チェック等を行いました。



11/19
thu.

埼玉県生協役職員等研修委託事業 消費者トラブルの事例から 解決方法を考えました

浦和あけぼのビルにて、池本誠司氏(弁護士)を講師に「基礎から学ぶ消費者保護法」をテーマに開催し、22人が参加しました。県連職員による「高齢者に対する送り付け商法」「インターネット取引被害」の寸劇から、グループで解決方法を考え発表後、講師からのコメントがありました。消費者被害防止のためには行政だけでなく地域のネットワークの広がりが必要だとまとめられました。



10/30
fri.

埼玉県消費者被害防止サポーター フォローアップ研修業務委託 消費者被害防止サポーターの 学習と活動を交流

浦和コミュニティセンターにて、NPO法人埼玉消費者被害をなくす会委託の消費者被害防止サポーターによる高齢者の見守り活動や啓発活動を促進し、サポーターのレベルアップを図るための「フォローアップ研修会」が開催され、26人が参加しました。池本誠司氏(弁護士)を講師に学習、サポーターと行政からの報告後、悩みや活動を広げるために必要なことをテーマにグループ交流しました。



広がる 県内生協の 多彩な活動



コープみらい



「コープみらいフェスタinスーパーアリーナ」を開催しました

11月3日(火)、さいたまスーパーアリーナで、「健康フェスタ」(主催：医療生協さいたま)、「さいたまTHE(地)スイーツフェア」、「国際フェア2015」と同時開催しました。会場には180を超える団体が出展し、約5万人の組合員、県民の皆さんをはじめ、塩川修埼玉県副知事、清水勇人さいたま市長、沖縄県伊平屋村から伊礼幸雄村長にご来場いただきました。食育をテーマにお取引先約66社による試食・販売、親子で楽しく学べる食育体験、コープみらいの事業や取り組みの紹介、ステージ企画などをお楽しみいただきました。

※ 食育をテーマにした組合員による「学ぼう 食 みんなのみらい教室」ブースは、終日大人にも子どもにも大人気でした。

医療生協さいたま



介護付有料老人ホーム“桂の樹”(所沢市)がオープン!

～医療生協さいたまの高齢者の住まいの事業スタート!

2015年12月1日(火)、介護付有料老人ホーム“桂の樹”がオープンしました。30室の入居施設の他、通所リハビリテーションも併設しています。“桂の樹”のキャッチフレーズは「あったかい生活 ころつなげるホーム」。全室個室で、家庭で使っていたなじみのある家具を持ち込むことができます。食事は、施設内調理で提供され、特別食の対応も可能。1階の地域コミュニティルームは、組合員、ボランティアなどにも開放され、入居者も交流に参加できる場となっています。

さいたま住宅生協



「住まい」をテーマに学習講座を行いました

組合員、消費者の皆さんを対象に住まいづくりのことを知ってもらうために、各地域で「住まい」をテーマに学習講座を行っています。

今回は10月17日(土)に越谷市中央市民会館で、10月24日(土)に浦和の住宅生協会館で、総勢30人の参加で開催しました。講座は、建築士を中心に、相続問題や、住まいづくり、リフォームを、事例を交えながら分かりやすく話をしました。また、無料住宅相談や写真パネル、天然素材の展示も行い、気軽に相談や専門家と話が出来る講座として好評でした。

パルシステム埼玉



商品展示会2015を開催しました

11月8日(日)、さいたまスーパーアリーナで商品展示会を開催しました。今年は初めての日曜日開催であり、1,000人近くもの組合員とご家族、お友達に参加しました。32のメーカーが出展し、おすすめの食べ方や調理方法の実演を交えて、食品から生活雑貨と幅広い商品に触れ合うことができました。会場では、生産者やメーカーへのメッセージを書き込む「ありがとうカード」が実施され、組合員がカードを通じて、日ごろの商品についての感想や感謝の気持ちを伝えました。

生活クラブ生協



彩の国ドリームフェスタに出展しました

11月14日(土)～15日(日)、『2015彩の国食と農林業ドリームフェスタ』に出展しました。2日間で組合員18名、事務局9名が参加し、対応しました。生協コーナーの一角で、ポークウィンナーの試食、パスタライズドびん牛乳・国産温州みかんストレートジュース、無農薬コーヒーの試飲を行いました。ブース内では骨密度測定や、添加物の少ない食品選びのパネル展示や添加物実験も行い、好評でした。

子どものその保育生協



大盛況の大バザール

11月1日(日)に園内で開催した大バザールは、準備から当日の取り組み、それに見事な片づけまで、組合員と理事みんなのがんばりが実ったものです。伝統ある「子どものその」のエネルギーと、地域社会における存在感を内外に示すことができました。一人ひとりを大事にする保育をつづけ発展させるために、これからも経営を守る活動を行いながら、組合員みんなの親睦を深め、団結を強めていきます。

十文字学園生協



学園祭『桐華祭』にて平和展を実施しました

十文字学園では毎年10月に学園祭『桐華祭』が行われ、今年も10月24日(土)～25日(日)の2日間開催され、地域や他大学の方が数多く来場されました。十文字学園生協では毎年「平和展」を実施し、広島・長崎の原爆を描いたイラストや写真の展示、平和に関するクイズ、『PeaceNow! 広島』に参加した学生委員のレポートポスターの展示等を行い、150人の来場者がありました。平和について、世代を問わず、考え・話し合っていたく機会になりました。